

安倍内閣は戦時内閣であり、独断・即決が求められる。  
戦争に平和時の民主主義など通用しない。

「法律違反だ」「国会での議論が足りない」云々、非常事態意識の無いマスコミや国会議員の意見など聞く必要は無い。「国民の命を守る」北海道知事、小池知事、吉村知事の一途で積極的な戦いぶりに、国民は心から声援を送っている。

開会中の国会実況放送を視ている国民は殆どいない。現状を一番解っていない議員たちの議論が空しいからだ。

安倍首相は国民の命・国家を、身を賭して守る責任を負っている。行動力の無い閣僚（随分居るぞ）は即座に更迭すべきだ。

国民へは補償ではなく、持続可能・将来性のある企業にだけ、大いに助成金を出し、投資もすべきだ。非常時に際して東大卒の、財務官僚の平和ボケの意見など聞く余裕は無い。将来性のない企業に補償金を出しても、一時しのぎで無駄金になるだけだ。

国民は安倍内閣にすべてを任している。総司令官には冷酷さも必要だ。安倍首相にはチャーチルを超してほしい。井の中の蛙、似非有識者など相手にするな！

国民は食うや食わずでも貴方と共に戦う覚悟はできている。非常時の強引な施策など、平穏が戻れば誰も批判せず美談になる。

これを乗り切れば、安倍内閣の信頼は増し、憲法改正も容易に出来る。国内の規制・許認可制・業界に付いた寄生虫のような団体・有識者と称するあまりにも多すぎる会合の無駄。国民は国会にもマスコミにも、もう騙されない。この機会に便乗して、安倍首相は剛腕を振るい整理すべきだ。

ウィルス終息後は、間髪を入れず、経済・技術での国際競争で先陣を切り、世界のリーダーに日本がなる絶好の機会だ。くだらん雑音は無視して、貴方の思う作戦を進めるべきだ。

歴史に残る命懸けの戦いが出来る事に気概を感じてほしい。